

やすらぎ 短信

平成 28年
12月号

十二月三十一日 大祓式

毎年、十二月三十一日に全国各地の神社では、大祓式（おおはらいしき）を斎行しております。この大祓式とは、我々が日々の生活を常に清らかな気持ちで過ごすために、自らの心身の穢（けが）れや、知らず知らずのうちに犯してしまった罪（つみ）・過（あやま）ちを祓い清めることを目的としています。大祓式では、神職が大祓詞を唱え、写真にある人形（ひとがた）を用いてお祓いし、無病息災を祈ります。

当社では、十二月三十一日午後三時から大祓式を斎行し、心身健康と無病息災をご祈願致します。皆様のお参りをお待ち致しております。



境内清掃奉仕

去る十一月二十日、浦幌明るい社会づくり（高橋利一代表）による秋の清掃奉仕が行われ、境内の隅にたまった落ち葉をきれいに掃き取って下さいました。



鳥獣魂碑慰霊祭

去る十一月二十日、鳥獣魂碑慰霊祭を斎行致しました。浦幌町の猟友会の会員が参列し、鳥獣の御霊をお慰めする祭事が行われました。今年には台風による倒木被害で危険な場所が多いため、猟での事故等が無いようにお祈り致しました。



新嘗祭並びに

収穫勤労感謝祭を斎行

去る十一月二十三日、新嘗祭並びに収穫勤労感謝祭が行われ、各産業関係者約七十名が参列し、収穫感謝の祈りを捧げました。今年は災害で、どの産業も大きな損害がでしたが、ご神前に手を合わせ、来年へ向けての英気を養いました。



私たちの暮らしとまつり

七五三には晴れ着を着て神社にお参り
 お正月には新年のお祝い...
 季節の恵みや健やかな日々
 の暮らしの喜びを確認し
 神さまに感謝の心を伝える機会として
 開
 私たちの暮らしの中には
 たくさんのおまつりが
 息づいています。

新年を迎えるにあたって

一年の幸せと実りをもたらしてくださる歳神さまをお迎えるために、まず家の内外を掃除する「煤払い」を行い、門松や注連飾り等の正月飾りを準備します。



神棚も同様に綺麗にし、神社から受けた新しいお神札を納めます。古いお神札は一年間無事に過ごせた感謝を込めて、氏神社に納めてお焚き上げていただきますよう。

忌

家庭にご不幸があった場合、一般的には五十日間を忌中として故人を偲び、神棚に半紙を貼るなどして、おまつりを遠慮します。忌が明ければ再び神棚もおまつりし、通常の生活に戻ります。

忌の期間が正月をまたぐ場合は、忌が明けてからお神札を受けましょう。
 なお、親戚の方が亡くなられた場合は、お葬式を出したお家でなければ、通常のおまつりをして問題ありません。

季節のまつり

四季折々の行事には、自然の恵みに感謝し季節を楽しむ日本人の暮らしの知恵や祈りが込められています。年中行事を通じて季節の移ろいを感じ、彩のある生活を送りましょう。

春
 生命が萌え出す春。立春の前日にあたる節分には豆撒きをして災厄を祓い、ひな祭りや端午の節供では子供の成長を祈ります。

夏
 太陽と雨が生命に恵みを与える夏。夏越の大祓には心身を祓い清めて、茅の輪くぐりを行い、お盆にはご先祖さまをお迎えます。

秋
 野山が色づく、実りの秋。十五夜には中秋の名月の下、団子などを供えて作物の実りに感謝します。

冬
 生命の誕生と再生に向けて準備を行う冬。冬至には柚子湯に入って健康を祈り、初詣は新たな一年の平安を祈願します。

初詣 皆様のお参りをお待ちしております。

官司の一筆

今年は、三度の台風で各産業も大きな被害を受けました。先日斎行された新嘗祭では、災害で大変な中、沢山の献上品をご奉納頂き、ご奉仕することができました。皆様の崇敬の念に只々感謝申し上げます。開拓者より百二十年間受継がれてきた「収穫の祈り」に氏子の心意気を感じました。来る年も皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

浦幌神社行事予定

- 十二月一日 月次祭
- 十二月十五日 月次祭
- 十二月三十一日 大祓式
- 平成二十九年 一月一日 元旦祭・開運祭
- 一月十五日 月次祭
- 古神札焼納祭

発行 浦幌神社社務所

北海道十勝郡浦幌町字東山町十八番地の一

電話 〇一五・五七六・二四四八